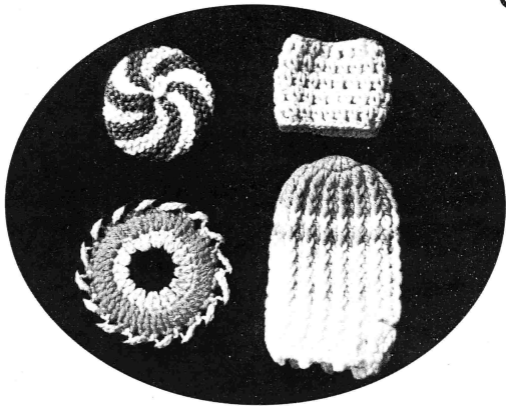


ごみを減らそう!!



gomi情報最前線

主婦の間で急速に広がっている「ゴミワシ」を知っていますか。洗剤を使わずくもきれいにできる。残りを活用して自分も編んで作れるというところが、このゴミワシを売っていたのは洗剤はほとんど使いません。洗剤のお皿やガラス製品でもひびひびかに洗えるんですよ」と西脇啓子さん。なんと2年前位からもちろつたり、あげたりして広がっていったが、残りを糸で編むだけで、簡単に誰でも作れるのがタワシ。そこに汚れを落とすパワーを秘めているのが、その秘密は、単繊維で構成され、千分の二ミリ単位の溝を持つ「アクリル糸」にあるのだ。糸が編むとできる凹凸もポイントらしい。「手が荒れて困っていたのに、荒れなくなつた。乾かすすいし。清潔やい、ほんまに虫歯タワシやわ」と、細木京子さんも手放しの賛めだ。

「メヤインもそれぞれ創意工夫され、フーメラン状に編んだり、ハイナップル型に編んだりといろいろだ。細い糸は二重三重にして編むこともあるという。用途も洗濯洗剤だけでなく、撥水剤などのカーペット油汚れ落とし、モップ替わり、浴槽掃除など、拭き掃除ならなんでも利用できる。ロクロミで広がついていった「コタワシ」、最初に考案した人「西脇啓子」。

西脇啓子さん

〒717 西川原2-1-1 (1) 西川原産産会館

〒717 西川原2-1-1 (2) 西川原産産会館

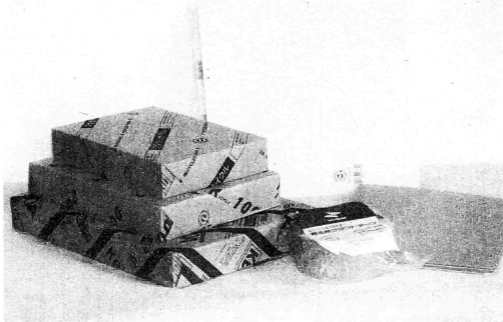
〒717 西川原2-1-1 (3) 西川原産産会館

〒717 西川原2-1-1 (4) 西川原産産会館

入り口から変えよう

グリーン購入やグリーンコンシューマーといって、環境に負担のかからない製品を優先的に購入しようという動きが活発になってきた。とかく、生活の出口である処理ばかりに目が向けられていたごみ問題。ここへきて入り口から見直そうというねりが高まり、自治体、企業など全国に広がっている。今回は、いち早くグリーン購入に取り組んでいる会員にご登場いただいた。

出席者／**松本育生氏**（環境市民チーフコーディネーター） **西中 宏氏**（大日本スクリーン製造株式会社 総務部施設課長）
湊 二郎氏（京都市環境局リサイクル推進課長）



京都市のグリーン購入品（一部）

環境の“黒船”になった
地球温暖化防止京都会議
（松本）

湊◎京都では、昨年12月に開かれた地球温暖化防止京都会議をきっかけに、環境への意識が高まり、グリーン購入が少しずつすすんでいます。京都でも多くの企業・市民が、この製品が地球環境への負担がならないか？とチェックして購入するようになったのでは？と思いますが、今までの消費を減らすだけでは不十分だと、地球温暖化防止京都会議の前座物がもたらせました。

松本◎昨年のCOP3は、開催地である京都を始発地の自治体に大きな影響を与えました。今までのようにやりきれなかったのをやるきっかけになりました。近隣の自治体は、一斉にグリーン購入を始めました。COP3は環境面の黒船になりました。

西中◎COP3がきっかけにはなりましたが、ただ、それを維持していくことが大切で、そのなかでそれぞれ努力しないと。

湊◎さて、松本さんは、すいぶん前からグリーン購入やグリーンコンシューマーに関わっておられる聞いています。現在、原産地をどうにか見直そうではないですか？

エコオフィスランを進める
京都市は189品目をエコ製品に指定

（湊）

松本◎エコオフィスランは、環境全般に関する市民運動を続ける中で、早くから環境を守る上で海

ごみってなんやウィーク'98 開催に向けて準備に大忙し

平成10年度全市キャンペーン事業として開催する運びとなった「ごみってなんやウィーク'98」開催実行委員会（茨谷川和子実行委員長）のメンバーを中心に、準備の真っ最中だ。昨年の「ごみアート展」の流れを受け、今年にはさらに企画を盛り込み、「ごみフェスタ」、第2回「ごみアート展」、ごみ問題討論会、フリーマーケット、京都を巡遊させビッグなイベントとして展開する。「ごみをテーマにしたユニークな内容にしたいと、スタッフは知恵を絞りあい、打ち合わせを重ね、準備に力を注いでいる。会員のみなさんぜひご協力、ご参加を。

事業名称

◇ごみってなんやウィーク'98

日時/10月18日(日)～25日(日)

午前10時～午後4時

会場/元京都市立龍池小学校

中京区西替町通押小路下ル

企画概要

◇ごみフェスタ(10月24日・25日)

・京のごみパナール展示(京のゴミの現状、ごみを出さないお買い物を)

・アルミの一生・練日・産食用油で走る

・ごみアート出現

◇第2回ごみアート展

・子供たちのごみアートコンテスト

・M・ババッチのごみアート展示

・M・ババッチのごみアートワークショップ

・ごみアートヒーリング

◇ごみ問題討論会(10月25日午後1時～)

再生紙の使用促進をテーマにディスカッションし、根強い白色紙留に激戦を投げかけます。

環境をテーマにしたロータリーアククトラ

プにみる寸劇も開催

◇フリーマーケット京都

(10月25日午後1時～2時京都市役所

前ひろば)

◇スタンラリー

多彩な内容で開催します。

ごみってなんや ウィーク'98

ボランティア募集

ごみ減らしへの多彩な提案を盛り込んだ「ごみってなんやウィーク'98」の開催にあたり、約400名のボランティアスタッフが必要になり、ごみってなんやウィーク'98開催実行委員会では、京都市ごみ減量推進会議の会員に、協力を呼びかけている。協力日は下記の通り。

期間：10月18日(日)～

10月25日(日)

詳しくは、京都市ごみ減量推進会議事務局へ

☎075-222-4091



京都市自治100周年事業 「100万人まち美化大行動」に 京都市ごみ減量推進会議が参加

去る6月13日(土)世界一美しいまち・京都・元京市民クリーンアップ大行動には、諸団体が集まり、パレードと街頭啓発を行った。京都市ごみ減量推進会議もこの催しに参加、めぐるくん推進友の会のメンバーが市の中、市役所前から円山公園までパレードした。

ごみ調査隊が行く

ごみ減量に関わる調査結果報告

— 京都消費者まつりにて —

めぐるくん
推進友の会

めぐるくん推進友の会は、去る10月20日、21日の由田第16回消費者まつりに参加し、京都市民250人に、ごみ減量の現状や分別の正しい出し方、一般ゴミに入れてはいけない、資源物の処理などを紹介した。素直に喜び、レポートカードを用いたクイズ形式で正しいおぼろぎなど「コーナー」などを盛りこんだゲーム、クイズに立ちまわった約10日間（を）を体験した市民仲間に関する調査をもとに以下を行うこと。

不用品交換システムも、もっとPRが必要。潜在需要はかなりあるのでは……

京都市が昨年4月からの実施施設での不用品回収ボックス。どのくらい認知されているのか、利用されているのか、困っているのか、知らぬもの、知らない人もかなり多かった。10名のアンケートを実施したが、場所が多岐にわたるため、希望する人に限ることからあくまでアンケートも、もっとPRの徹底度を高め、利用のしかたを広げる仕組みをとりこむ必要があると、かかると。

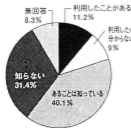


図1. あなたの、京都市の福祉で不用品交換ができるシステムを二存じますか？

古紙回収のポリ製袋の使用について

新聞の販売価格増徴に伴い、古紙回収ボックスでの古紙回収促進がなれば、販売価格は配布を止めるなどの影響はない。回収側の作業を妨げないよう配慮も必要だ。回収現場への説明が重要で、古紙回収に協力している人や、その「ポイント」を直接伝えることが重要だ。回収現場で配布しているポリ製袋の回収率は、古紙回収率が高まっている方向もあり、適切に配布については、古紙回収率が上がった場合は再販促進も必要だ。

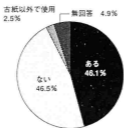


図2. 古紙回収時に新聞社の配布する、ビニール袋（社名入り）を使用したことがありますか？

30%近くがとれない びんのキャップに注目があつた。

京都市がびん、プラスチック、紙の分別収集を始めてから1年が経ち、市民の分別収集の意識が高まっている。しかし、30%近くがとれないびんのキャップに注目があつた。回収現場での説明が重要だ。

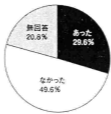


図3. いままで、びんのキャップでとれないものも含むものがありましたか？〔とれないものも含む〕

3月に実施したアンケートの結果、市民からの「キャップ回収」に関する問い合わせは多い。回収現場での説明が重要だ。回収現場での説明が重要だ。回収現場での説明が重要だ。

めぐるくん推進友の会は、11月の調査を各自治体にもつたため、詳しくは「めぐるくん推進友の会」のウェブサイト（http://www.kyoto-metrop.go.jp/）をご覧ください。

行政からのお知らせ

散乱ごみのない 美しいまち・京都に向けて 「京都市美化推進協会」を 設立

京都市は、昨年8月施行した美化推進条例に基づき美化推進等総合計画（平成10年2月策定）の具体化のひとつとして新たな共同事業組織「スタート」を設立した。

また、「コンクリートストア」、ファーストフード、旅行者など、小売りを中心にした事業者が協力しあつて街の散乱ごみに対応しようという動きで、全国的にも例のない新たな共同事業組織となる。

現在、京都の散乱ごみは、空き缶をはじめ、たばこの吸い殻、レジ袋など、資源物包装材に占められ多様多様に排出されている。これを防止し、まちの美化を進めるために、小売業者が役割を担っていくことになる。

去る6月27日（木）午前、設立総会が開かれ、役員が参加し、京都のまちを美しくしようという決意をあげた。京都市美化推進協会では、年間約40回の清掃活動、街頭美化啓発活動のほか、回収路線（約30区）の設置を予定している。

新連載：ごみとつきあふ

修理できない製品、サイクルの短い製品が大量生産され、 そしてごみの山に。今こそ良識ある消費者の声を。

竹菱電機株式会社 久城 正

日本の高度成長は古くは、大量生産・大量消費が前提であり、誰か捨ててくれることを前提に設計された製品が多くあります。所得が上がると、生活水準も上昇し、私物の消費に使う手が増え、物産を修理・修繕せず再度使うことが激減。半年、一年というサイクルで手放すことが増え、修理だけでは対応できない製品が売られていくのです。その度に、修理・交換部品が不足してしまいます。10年以上使えるはずが、部品が安価修理修理は不可能なのが現実です。「捨てる」捨ててもらう「新しいのを買うのが楽だ」という考えが時代の結果が、ごみ捨て場（産業処理場）が不足して、四苦八苦、ごみ捨て場の不足が、ごみとつきあふ。

所得がよくなるに伴い修理・修繕費、技術料金は上がり、電子機器などは修理を頼むよりも自分で修理する方が安い、捨てる必要を減らしたい状況になってきています。

また、技術者の技術レベルの低下があげられます。そのメーカーサービス部門の教育が熱心で、製品に合わせたサービスマニュアルは作

成り、多くの製品において修理レベルはマニュアルでできます。しかしマニュアルに記載していない修理、修繕はなかなかできません。原因は「部品が動かないから」です。



え突っ込んで調べていく努力が、多くの技術者に欠けています。経験が少なければ大きな原因です。修理では、ユニット交換、基板交換するところが多く、何が原因かわかりません。修理経験や知識が蓄わらないのです。

ランソンの短い製品、製品のマイコンにある修理ができません。技術レベルの低下が原因です。これは高価な部品が得られない製品を安く安く手を出す結果をもたらしたのです。これでは、これは減るはずがありません。昭和35〜45年頃まではありましたが、耐久性があり、修理でき、デザインも簡単には壊れませんでした。メーカーだけが悪いのではなく、消費者が製品を長く大切に使用する気持ちを持たなくなりました。製品が欲しい、欲しい、欲しいの必要製品が欲しいなど、意見を述べてしまいます。今メーカーは「何を作れば売れるのか」と目論みになっていきます。

最近、通販力タの会社が、あるメーカー（株）に「修理」を主催してサービス「サービス」を増強してサービスしています。消費者からのアンケート、良い意見は、良い商品の生産につながるのです。

会員探訪

現在165に達している京都市ごみ減量推進会議の会員。それぞれにごみ減量への取組があるにちがいありません。知恵と工夫にあふれた活動に学ぶことは、ごみ減量への取組をさらに活性化させる上で、大いにプラス。ごみ減量に前向きな会員を訪ねていきました。

京都中央信用金庫

Q 自社で文書のリサイクルをされているそうですね。

A 約5億円を投資し、建設工事から約1年をかけて、下馬場には書紙処理センターを開業し、1999年2月から稼働させています。本店をはじめ50の支店の紙類をすべて回収し、年間約20万トンリサイクルしています。1999年度には「京都市商業物処理条例」が施行。翌2000年には「一般廃棄物（み）処理基本計画」が策定され、同年に事業用大規模建築物（3,000㎡以上）に対し、1/2の資源削減が義務づけられたことがきっかけでした。当選項でもできる限り減らしてまいりたいという思いから、さまざまな取組を行っています。京都地区の金融機関では第一号です。

Q そのようなシステムでリサイクルされているのですね。

A 我々金融機関には、紙類類の守秘義務が課せられていますが、たゞ一次の生産であっても紙類は回収されてリサイクルされています。リサイクルシステムが完全に徹底して始まりました。その結果は、親を各部署店に届ける回収容器の種類、その管理は、親をかげらねばなりません。リサイクル特別管理センターには、紙の圧力（圧縮機）で圧縮して、トトレットペーパー（再生紙）の再処理工場へ搬入し、トトレットペーパー（再生紙）に変わります。再生紙のトトレットペーパーは、当選項の紙の回収の回収品目として再生紙として、社内での印刷に活用されています。

Q 文書処理センターが稼働しているため、社内の環境もよくなっているのではないですか。

A 当選項では、年間約300トンの文書廃棄物が排出されています。今までは、それを各店でも型紙センターに持ち込んで回収してもらっていました。この文書類の処理に手間がかかっていたので、業務の効率化が図れました。また、文書類をまとめて焼却するので、環境にやさしく、再資源化して利用していくシステムを確立したことで地域社会に大きく貢献できたと思います。



紙のリサイクルの場を、きちんと別けておきたい。一度、文書類をまとめて焼却するので、環境にやさしく、再資源化して利用していくシステムを確立したことで地域社会に大きく貢献できたと思います。

紙のリサイクルの場を、きちんと別けておきたい。一度、文書類をまとめて焼却するので、環境にやさしく、再資源化して利用していくシステムを確立したことで地域社会に大きく貢献できたと思います。



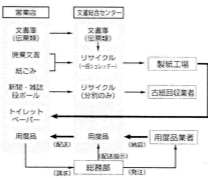
色紙などにも活用されている回収容器

Q 紙のリサイクルの場を、きちんと別けておきたい。一度、文書類をまとめて焼却するので、環境にやさしく、再資源化して利用していくシステムを確立したことで地域社会に大きく貢献できたと思います。

A 当選項では、年間約300トンの文書廃棄物が排出されています。今までは、それを各店でも型紙センターに持ち込んで回収してもらっていました。この文書類の処理に手間がかかっていたので、業務の効率化が図れました。また、文書類をまとめて焼却するので、環境にやさしく、再資源化して利用していくシステムを確立したことで地域社会に大きく貢献できたと思います。

Q 紙のリサイクルの場を、きちんと別けておきたい。一度、文書類をまとめて焼却するので、環境にやさしく、再資源化して利用していくシステムを確立したことで地域社会に大きく貢献できたと思います。

リサイクルシステムの流れ



京都中央信用金庫

本店所在地
〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入
面谷町91
出資金 14,869百万円
従業員数 1,991名
店舗数 90店舗
理事長 道端 進



京都府京都市伏見区、京都市地域女性連合会副会長おぼろぎの藤田奈津子氏

京都市地域女性連合会

「まち地域女性連合会」とはどのような団体なのか教えていただきたいですか。

A 前身は、戦後初めて婦人会で、平成元年に地女性連合会を改定されました。地域に基礎を置く、女性の地位向上を目指しての会と、地域を目標に幅広い実践活動を行っている社会教育関係団体です。昨年、平成9年に創立20周年を迎えましたが、男女共同参画社会の実現を目指して、女性問題を解決するための新しい文化創造活動に力を入れた活動をしています。現在、会員が7千人、各区単位のネットワーク、各区、京都市委員会や組織体で構成されています。

Q まして、具体的な活動の内容はどのようなものを行っていますか。

A いろいろな分野で、民間や官公庁などでも活動を進めています。たとえば、たばこの健康被害を減らすため活動を行っています。また、犯罪被害者支援や、虐待被害者の支援もしています。また、犯罪被害者支援や、虐待被害者の支援もしています。また、犯罪被害者支援や、虐待被害者の支援もしています。

Q 活動の目標はありますか。

A 活動の目標は、女性の地位向上、男女共同参画社会の実現、地域を目標に幅広い実践活動を行っている社会教育関係団体、会員数は7万人。

は抽選で抽当りしています。環境ホ르몬が話題になっていますが、それに対して身近に感じてもっと多くが大きな課題です。そのために生計と生活にどうにか入るべきですね。思いを、これまで動物下水道処理場、動物フロンセンターなど、あちこちに出かけました。講師にもお話をうかがっています。今年は10月に必ず講師の準備をばい、あつた会費も予定してあります。

Q 買いたい物ばかり取り揃えてもらえるところですか。

A 買いたい物は、自分のお財布と相談して、お話を聞くことが必要です。お話を聞くことが必要です。お話を聞くことが必要です。お話を聞くことが必要です。



私たちが生活の中心で、日用品の消費を減らす、袋の再利用が大切だと考えている。エコバッグやマイボトルを持ち歩くように、中には、両者の手紙を活用し、袋を作ることで地域にも貢献したい。また、個別別産品を販売するプロジェクト、シルクを販売するプロジェクトなども行っています。

Q 古着のリサイクルなどに取り組まれているとのことですが、いかがですか。

A それぞれの家財道具の整理、処分、リサイクル、回収の取り組みは、それぞれが取り組んでいます。また、古着のリサイクルなどに取り組まれているとのことですが、いかがですか。

いろいろな活動があり、私たちの健康を促しているものもたくさんあります。3年前の消費生活まつりには、たくさん売れました。食べ物などの小物を作りました。また、協会があげた交換会なども開いた方がいいですね。

Q 今後どのような活動に取り組まれる予定ですか。

A 7月の若林会場で、関係者の協力を取り組んで活動が予定されています。行政の要請もあられるので、活動の場は、本格的にしていきたいと考えています。また、動物フロンセンターなど、あちこちに出かけました。講師にもお話をうかがっています。今年は10月に必ず講師の準備をばい、あつた会費も予定してあります。

Q 環境問題への取り組みはありますか。

A 環境問題は、地域を目標に幅広い実践活動を行っている社会教育関係団体、会員数は7万人。

Q 今後の活動の目標はありますか。

A 今後の活動の目標は、女性の地位向上、男女共同参画社会の実現、地域を目標に幅広い実践活動を行っている社会教育関係団体、会員数は7万人。

京都市地域女性連合会

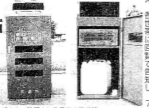
事務局所在地
 〒603-8363
 京都市下京区大宮通七条上ル
 会長 滝川文子
 常任委員 西脇悦子
 地域に基礎を置き、女性の地位向上と志むけのある地域づくりを目標に地域に根ざした幅広い実践活動を行っている社会教育関係団体、会員数は7万人。

Report

使用済みてんぷら油の回収に取り組み 聖護院・川東・新洞学区 ごみ減量推進会議

今年7月からスタート
順調に3カ月が過ぎて。

京都市がスタートさせたハイサイクル事業の輪が急速に広がり、全面的にも注目を集めている。使用済みてんぷら油をハイオスターセル燃料として再資源化し、みか収集車を走らせたり、また別所ではじめたのが昨年8月、下鴨・葵・松ヶ崎地区ごみ減量推進会議で6カ所を拠点に毎月第1土曜日の1時間、家庭からの廃食用油を集め、実績を上げてきた。この実績を京都市が聞き、刺激を受けたのが聖護院、川東・新洞学区ごみ減量推進会議（今西園子会長、先宿格の下鴨・葵・松ヶ崎地区ごみ減量推進会議に見学に行った）。京都市から指導を受けた後、廃食用油の回収事業を平成10年度の活動目標に掲げ、第1回に回収を告知し、7月1日から始めた。廃食用油の所て第一回目は、約250ℓ（集め72名）、第2回目にあたる8月21日は、約350ℓ（集め64名）を集めた。



京都市内に設置される予定の回収箱。

天ぷらを揚げていた油が
燃料に替わる不思議なシステム

高品位な使用済みてんぷら油は、その多くは燃料用に回収される。新規に集めてきたてんぷら油は、すでに使用済みとして出たお茶、湯揚げたてんぷら、中には、台所の汚水などが混ざって入り込んでいる。これを新用燃料として回収する。この高品位の油もハイサイクル事業を創発した民間企業に、経緯や仕組みを尋ねた。「廃食用油をハイオスターセル燃料に替えるこの事業は、3つの要素を持ちます。第一に、環境保全への貢献です。捨てる油が減少しますからね。第二に代替エネルギーの開発です。限りある資源にとらわれないようにして、意義が大きい。第三に、排気のクリーン化が図れること。このエネルギーは地球温暖化の防止に役立つ」とは、同会議の会長を語る。

町中を走る
ごみ収集車に親しみが…。

回収開始後、今西会長や役員にいろいろお話を聞いています。『僕もまたハイサイクル油を捨てていたが、これで捨てなくてもいい』『紙で吸い取ったてんぷら油もハイサイクルで回収しているのだから、おれもハイサイクルで油を捨てたが回収せ

使用済みてんぷら油の回収実施状況

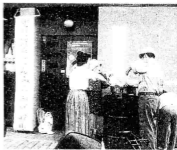
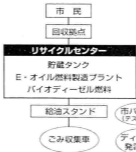
- ◆下鴨・葵・松ヶ崎地域ごみ減量推進会議
平成9年8月より開始 毎月第2土曜日6カ所で回収
平成10年4～8月で2,149ℓを回収した。
- ◆右京区地域女性連合会
平成10年1月より開始 毎月第4土曜日14カ所で回収
（善野・南太秦・常盤野・嵯峨・御堂・西京極・花園の7学区）
平成10年4～8月で4,750ℓを回収
- ◆聖護院・川東・新洞学区ごみ減量推進会議
平成10年7月より開始 毎月第2水曜日2カ所で回収
平成10年4～8月で2,149ℓを回収した。
- ◆下京区健康保健協議会
平成10年8月より開始 毎月第1水曜日4カ所で回収
平成10年8月30ℓを回収した。
- ◆西京区桂生小学校
平成10年9月より開始 毎月第4月曜日1カ所で回収

はじめて、2カ月前過ぎ、今後の詳細も考えました。新設品は広くなってしまったもの、220台のみか収集車の消費燃料約5,000ℓには差支えが及ばない、とりおろし手は回収ボックスも回収に悩まなかった。一時集めておいた油も回収ボックスに入れておいてほしい。そして徐々に、回収拠点を増やしてたいの意向を持っています。地域に受け入れ、受け入れ拡大し、浸透させていこうとできるが、聖護院・川東・新洞学区ごみ減量推進会議の活動をサポートしたい。



美山2米酒ジャスコ前にて (9/9)

廃食用油リサイクルシステム



嵯峨野社向山ジャンプラ前にて (7/11)

あなたのご意見をお寄せください

このページは、ごみに関する自由な発言コーナーです。どなたでもどんなご意見でも歓迎します。京都市ごみ減量推進会議までお手紙どうぞ。

〒604-8571 京都市中京区寺町御池
京都市環境事業部
リサイクル推進課内
☎ 075-222-4091
☎ 075-213-0453

京都市ごみ減量推進会議 会報「ごみを減らそう!」NO.7
1998年(平成10年)9月発行
編集発行 京都市ごみ減量推進会議

エコペーパー100(再生古紙100%再生紙、白色度60)を用い、大塚インクで印刷しています。